

# 南の風 105

南部ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

## IV【オフェンススペーシングファンダメンタルズ】

### 1 ペネトレーション&スペーシング（2メン）

スペーシングについてです。オフェンスの基本は5人の協力です。まずはお互いが邪魔しないことです。通常、味方同士の距離は5m～6mを取ることが基本ですが、ミニバスの場合はやや短くなります。（4m～5m）小学校の体育館のコートの広さを考えての距離です。

ここでは、ドリブルペネトレーションからのスペーシングについて紹介します。2メンについては、昨年のDVDⅡでも紹介しましたが、今回はさらに具体的に紹介しています。

シュチエーションは、リングに向かって右ウイングとショートコーナーです。ウイングのエンドラインドライブに対して、ショートコーナーのプレーヤーはエルボーに上がります。ミドルラインへのドライブに対してはビッグコーナー側へ広がります。動く時は、ボールから目を離さずにターゲットハンドを出しながら集中します。どんなタイミングでもボールをキャッチできる準備をしていなければなりません。そしてパスが出された時は、**正確なシューティングフットワークでボールミートしなければなりません。**（こういったことをしっかりやるのが大切です。）

### 2 3メンスペーシング&ゲームスペーシング

3メンのスペーシングは、2メンのシュチエーションにトップのプレーヤーが加わります。エンドラインドライブに対して、トップの位置のプレーヤーはドラッグ（ドリブラーがいたポジションを埋める）して、リリースパスを受けるように動きます。ショートコーナーのプレーヤーは、2メンの時と同じです。ミドルへのドライブに対しては、トップの位置のプレーヤーは逆サイドへフレアーカットします。

動く時の注意点は2メンの時と同じです。

ゲームスペーシングです。4メンの場合を紹介します。トップ、ウイング、両ショートコーナーとします。ウイングのエンドラインドライブに対して、ボールサイド、ウイークサイドにいたプレーヤーは、それぞれが近いエルボーに上がります。トップのプレーヤーはドラッグします。ミドルドライブに対しては、ボールサイドのショートコーナープレーヤーは、ビッグコーナー側へ広がります。ウイークサイドのショートコーナーのプレーヤーは、ドライブのコースを空けるようにバックドアカットします。タイミングが遅れるとスペースを潰すことになるので注意が必要です。トップのプレーヤーはフレアーカットします。

5人のゲームスペーシングでは、ボールから一番遠いプレーヤー（逆サイドのウイングポジションのプレーヤー）は、空いているスポットを埋めるように動くことが基本です。例えば、ミドルドライブの場合は、トップのプレーヤーのフレアーカットに連動してエクステンジするようにトップに上がります。ディフェンスを付けて確認しながらやりましょう。